



保坂 悟 議員

質問 糸魚川市の品格とおもてなしの心について

「かにや横丁」が4月にリニューアルオープンしたが、9軒あるカニ屋のうち1店舗だけが古い施設で営業を行う「いじめ」の光景を買い物客にさらし、市の品格やおもてなしの心を損ねている。

これを市はどのように受け止めているのか。市の観光拠点での「いじめ」行為は、交流人口拡大の施策に支障があると思うがどうか。

▼市長答弁

リニューアル前のかにや横丁の変更契約について裁判所に判断を委ねたもので、現在も審理が継続中であり、新たな店舗での契約が困難なことから、現在の配置としているものである。

現時点では、交流人口の拡大等に支障があるとは思っていないが、係争中の事件については、できるだけ早

い解決を望んでいる。

質問 糸魚川白嶺高校の魅力づくりと地域活性化について

市の平成25年度の出生数は281人なので、15年経てば市内3高校全体で40人学級7クラスだけになる。

白嶺高校を魅力ある高校にするための、地域産業に直結した人材育成、産官学連携による地域資源を活かしたビジネスづくり、魅力ある課外授業の設置と支援について伺う。

▼市長答弁

市は県立高校のカリキュラムに直接関わることはできないが、行政、高校、中学校、地元産業界が連携したキャリア教育の充実による人材育成が重要であると考えている。

また、キャリア教育の充実を高校に働きかけ、産官学が一体となった地域参画型のキャリア教育について、高校とともに研究し、課外授業等で、白嶺高校と連携できるものがあれば、協力して実施していく。

その他質問項目

- 子育て支援について
- 生活困窮者自立支援制度について
- 持続可能なまちづくりについて



笠原 幸江 議員

質問 いじめ問題再発防止の支援体制について

当市における中学校いじめ問題の対応について、スクールソーシャルワーカーの配置や、いじめに関する情報の共有についてはどうか。中学校のいじめ問題の責任の所在は、どこにあるのか。

▼教育長答弁

スクールソーシャルワーカーは、この度の事案に対処するために市独自で配置し、小中学校におけるいじめ・不登校への対応について教職員への指導・助言及び研修を進めていく。

また、情報の共有については、この度の事案を全学校へ伝達し、このような事案が二度と発生しないよう、厳しく指導していく。

この度の事案については、学校の管理監督責任は学校長にあり、教育行政執行上の責任は教育長にあると考えている。

質問 糸魚川市観光協会とジオパルの現状と今後について

当市の顔となりつつあるジオステーションジオパル、市観光協会、観光案内所は重要な位置づけとなっている。

市観光協会とジオステーションジオパルの現状と今後の方向性について伺う。

▼市長答弁

観光協会については、平成26年4月に実質的な合併を果たし、誘客キャンペーンの参加、観光情報の収集、管理、発信を一元的に取り組んでいる。また、ジオパルについては、オープン以降、5月末までに約18万人の方からご来場いただいております。市内観光の情報発信基地として、機能の向上に努めていく。

今後の方向性としては、観光のワンストップ窓口となるよう一体的な活動を推進する中で、運営体制の強化と効果的な誘客活動に努めていく。